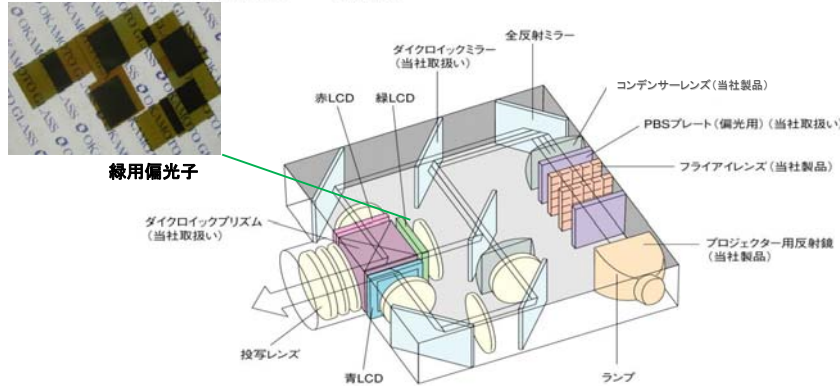


新規事業の早期立ち上げ

プロジェクター用偏光子

液晶プロジェクタ 断面図

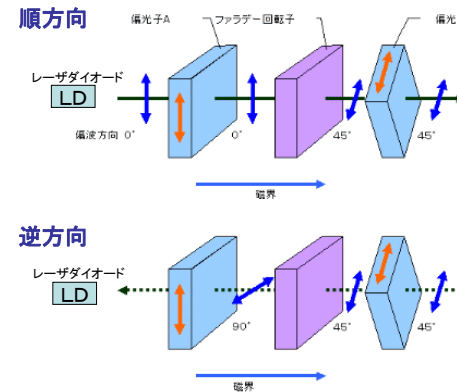


緑用偏光子市場規模: 20億円

新規事業の早期立ち上げ

通信用偏光子

戻り光によるレーザーの動作の不安定を防ぐ



通信用偏光子の市場規模: 13億円

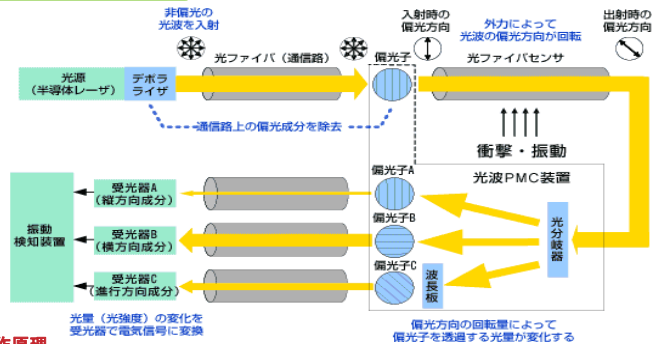
順方向においては、偏光子Aを通過した直線偏光はファラデー回転子を通過することにより偏波面が45°回転し、45°の角度をなす偏光子Bを通過する。

一方、逆方向においては、偏光子Bを通過した直線偏光はファラデー回転子を通過することによりさらに45°回転するため、偏光子Aと直交することになり、偏光子Aを通過できなくなる。

これによりレンズやファイバーなどの光学部品からの戻り光をなくし、レーザーの動作を安定させる。

新規事業の早期立ち上げ

センサー用偏光子



動作原理

光ファイバセンサに加わった外力(振動・衝撃)によって、光ファイバセンサ中を進行する光波の偏光方向が回転(変化)する。光波の偏光方向は、光波PMCに内蔵された角度が異なる3つの偏光子と波長板で、垂直・水平・進行方向成分として分離、光強度に変換して伝送し、受光器で振動・衝撃量として検知する。

センサー用偏光子の市場規模: 20億円

新規事業の早期立ち上げ

デジタルシネマ用反射鏡

世界の映画では、フィルムからデジタルへの移行が進んでおり、映画館でデジタルシネマ用プロジェクタの設置が進んでいる。

世界の映画館 13万スクリーン

デジタルシネマへ移行 5~6万スクリーン

移行ペース 5,000~6,000スクリーン/年

販売計画	2008年度(実績)	2009年度(計画)	2010年度(計画)	2011年度(計画)
	10百万円	66百万円	188百万円	212百万円

シェア50%獲得を目標に、販売活動を活発化

今期連結業績目標

売上・利益

(単位:百万円)

	2008年度 (2009年3月期)	2009年度 (2010年3月期)
売上高	5,897	5,195
営業利益	-687	105
営業利益率	-11.7%	2.0%
経常利益	-937	159
経常利益率	-15.9%	3.1%
税引前当期純利益	-1,501	153